



2024年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年10月15日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
コード番号 3266 URL <http://www.fc-group.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第3四半期の連結業績 (2023年12月1日～2024年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第3四半期	2,438	△25.5	80	△68.9	△7	—	△40	—
2023年11月期第3四半期	3,272	325.8	257	—	228	—	149	—

(注) 包括利益 2024年11月期第3四半期 20百万円(△87.4%) 2023年11月期第3四半期 161百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第3四半期	△1.08	—
2023年11月期第3四半期	3.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第3四半期	6,467	2,826	43.7
2023年11月期	5,670	2,844	50.2

(参考) 自己資本 2024年11月期第3四半期 2,826百万円 2023年11月期 2,844百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2024年11月期	—	0.00	—	—	—
2024年11月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想 (2023年12月1日～2024年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	4,630	11.9	360	2.7	310	3.4	200	9.2
								5.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年11月期 3Q	37,686,371株	2023年11月期	37,686,371株
2024年11月期 3Q	33,301株	2023年11月期	33,301株
2024年11月期 3Q	37,653,070株	2023年11月期 3Q	37,661,979株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年12月1日~2024年8月31日)における我が国経済は、堅調な企業業績などを背景に景況感は良好な水準を維持しており、雇用・所得環境についても緩やかに改善が進んでおります。一方で、引き締めの金融政策運営が世界的に行われる中で、一部の中央銀行では利下げに転じる動きがあるなど、金融市場の先行きについては不確実性が高まっております。加えて、物価の上昇によるコスト高や為替相場の変動が続いており、経済の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、引き続き投資家の物件取得意欲は高い状況にあり、訪日外国人の消費回復や円安などの影響もあり、国内外の投資家による活発な物件の売買が行われております。今後についても、物件価格と収益性のバランスを慎重に検討しながら、新規物件の取得を行ってまいります。

また、太陽光発電業界におきましては、投資商品としての需要に加え、カーボンニュートラルの実現に取り組む企業からの投資ニーズも高まっております。再生可能エネルギー普及促進への政府の後押しも追い風に、今後も市場の拡大が期待されております。

運送業界では、トラックドライバーの時間外労働の上限規制などのいわゆる「2024年問題」により、中小の物流事業者の財務改善、資金調達のニーズが高水準で推移しており、当社グループが展開するトラックのリースバックは需要の拡大が見込まれます。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業においては、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。

インベストメントバンク事業においては、第3四半期に海外の不動産1物件を売却するとともに、国内の不動産の取得を実施いたしました。また、車両リース事業においては、引き続きリースバック車両の取得を実施いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高2,438百万円(前年同期比25.5%減)、営業利益80百万円(前年同期比68.9%減)、経常損失7百万円(前年同期の経常利益は228百万円)、また、法人税、住民税及び事業税、法人税等調整額の計上により、親会社株主に帰属する四半期純損失40百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純利益は149百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

<アセットマネジメント事業>

当第3四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は215億円(一部円換算US\$1.00=144.80円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は198億円となり、不動産ファンド、太陽光発電ファンド、証券・事業型ファンドの各ファンドにおいて、アセットマネジメントフィー等を計上しております。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高505百万円(前年同期比13.8%減)、セグメント利益126百万円(前年同期比46.2%減)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資事業では、海外不動産の売却を実施したほか、保有不動産からの賃料収入を計上いたしました。また、車両リース事業においては、車両の売却、リース収入を計上しました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高1,933百万円(前年同期比28.0%減)、セグメント利益188百万円(前年同期比23.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ796百万円増加し6,467百万円となりました。これは主に、現金及び預金が451百万円減少した一方で、棚卸資産が1,249百万円増加したことなどによるものです。

(負債の部)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ813百万円増加し3,640百万円となりました。これは主に、短期社債が300百万円減少した一方で、短期借入金が増加したことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ17百万円減少し2,826百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上、配当金の支払いにより78百万円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が61百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は上記の通りであり、2024年1月15日付で発表いたしました連結業績予想に変更はございません。なお、今後の業績等につきましては、様々な要因により大きく異なる可能性があります。何らかの変化がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,535	1,083
売掛金	97	84
未収入金	55	170
有価証券	114	124
営業投資有価証券	343	372
棚卸資産	2,100	3,349
前渡金	31	3
短期貸付金	312	273
その他	205	85
流動資産合計	4,796	5,546
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4	4
工具、器具及び備品（純額）	12	12
土地	402	402
有形固定資産合計	419	418
無形固定資産		
その他	3	2
無形固定資産合計	3	2
投資その他の資産		
投資有価証券	172	254
その他	262	231
投資その他の資産合計	434	485
固定資産合計	858	907
繰延資産		
開業費	16	13
繰延資産合計	16	13
資産合計	5,670	6,467
負債の部		
流動負債		
短期借入金	519	1,425
1年内返済予定の長期借入金	153	161
短期社債	300	—
未払金	140	214
未払法人税等	73	10
賞与引当金	53	19
役員賞与引当金	12	4
投資損失引当金	14	14
預り金	48	62
前受収益及び契約負債	247	386
その他	33	34
流動負債合計	1,597	2,334
固定負債		
長期借入金	1,217	1,262
その他	10	43
固定負債合計	1,228	1,306
負債合計	2,826	3,640

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180	1,180
資本剰余金	677	677
利益剰余金	915	837
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,772	2,693
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	71	132
その他の包括利益累計額合計	71	132
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,844	2,826
負債純資産合計	5,670	6,467

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
売上高	3,272	2,438
売上原価	2,503	1,872
売上総利益	768	566
販売費及び一般管理費	511	486
営業利益	257	80
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	6
デリバティブ評価益	—	6
為替差益	14	—
その他	2	0
営業外収益合計	22	13
営業外費用		
支払利息	26	54
投資有価証券評価損	3	1
資金調達費用	20	39
為替差損	—	1
その他	1	2
営業外費用合計	51	100
経常利益又は経常損失(△)	228	△7
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は 純損失(△)	228	△7
匿名組合損益分配額	—	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	228	△8
法人税、住民税及び事業税	62	27
法人税等調整額	14	4
法人税等合計	76	32
四半期純利益又は四半期純損失(△)	151	△40
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主 に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	149	△40

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	151	△40
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	61
その他の包括利益合計	9	61
四半期包括利益	161	20
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	159	20
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業	
売上高			
外部顧客への売上高	586	2,686	3,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	586	2,686	3,272
セグメント利益	235	246	482

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	482
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△227
四半期連結損益計算書の営業利益	257

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業	
売上高			
外部顧客への売上高	505	1,933	2,438
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	3	11
計	513	1,937	2,450
セグメント利益	126	188	314

(注) 当社グループは、報告セグメントのうちインベストメントバンク事業については、「製品及びサービスに関する情報」として、「不動産投資等部門」及び「証券投資等部門」の金額を記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間より記載しないこととしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報についても同様の記載としております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	314
セグメント間取引消去	△1
全社費用(注)	△233
四半期連結損益計算書の営業利益	80

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)
減価償却費	3百万円	3百万円